

議員案第44号

議案第55号令和2年度小金井市一般会計補正予算（第5回）に対する
決議

上記の決議を次のとおり提出する。

令和2年8月20日提出

小金井市議会議員

白	井	亨
坂	井	えつ子
湯	沢	綾子
田	頭	祐子
片	山	薫
宮	下	誠
渡	辺	大三
水	上	洋志

議案第55号令和2年度小金井市一般会計補正予算（第5回）に対する
決議

小金井市議会は、新型コロナウイルス感染症対策として市長が提出した議案第55号令和2年度小金井市一般会計補正予算（第5回）に対して、以下の意見を付して議決するものである。

- 1 これまでに市議会が可決した決議や、市議会が採択した陳情書、各会派からの提案に対して、その具体化を図ろうとの姿勢が一定見受けられることについては評価する。しかしながら、今回の補正予算の歳入歳出総額7億2,225万6,000円の歳入内訳は、国庫補助金が6億1,372万9,000円、都補助金が8,852万7,000円で、小金井市自身の財源投入額はわずか2,000万円に過ぎない。小金井市の前年度の一般会計の黒字額が22億2,512万6,804円であったことを踏まえれば、今回の補正予算において、新型コロナウイルス感染症の影響に苦しむ市民や事業者などを支えるために、中長期的な財政見通しを確立しつつ、その一部を積極的に活用するなどの工夫があつてしかるべきである。
- 2 今回の補正予算では、市議会の決議を踏まえて、自己所有物件で事業を行う事業者のうち、売上減少の著しい者に対して20万円を上限とした「応援金」を支給する予算が計上された。このことは前向きに評価する。一方、先行して給付された、賃借物件で事業を行う事業者への事業継続給付金は、予想より申請が少なく、執行率は半分程度にとどまっている。これを未執行で終わらせることなく、事業者への第二弾の給付金として活用すること等を検討すべきである。
また、事業継続給付金においては、支給実態を調査し、売上減少率が15%以上の基準の見直しなどを検討し、より多くの事業者が受けられるようにするべきである。加えて、専門家による申請サポートを受ける仕組みを組み込むよう検討することを求める。
- 3 アーティスト等緊急支援のために、動画作品を募集し、一人当たり5万円（1作品当たり上限30万円）の謝礼を支払うとの予算が計上された。1作品を作成するための費用が一人当たり5万円ですufficientなのかや、提出されたコンテンツの活用については、事業の実施に当たって十分な精査を求めるものである。プロとして文化芸術活動に携わるアーティストの対象については柔軟に対応することを求める。加えて、今後、専門家や関係者の意見をよく聞いて、事業内容の詳細を早急に具体化することを求める。
- 4 4市医師会の共同により、PCR検査センターが設置され、検査業務に尽力されていることに心からの敬意を表するものである。
新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続く中で、東京都と協議しながら、PCR検査の拡充を求める。
上記のような課題はあるが、新型コロナウイルス感染症対策の遅延は許されないことから、小金井市議会は、意見を付して議決するものである。
以上、決議する。

令和2年 月 日

小金井市議会